

Feature Exhibition Celebrating the 70th Anniversary of Hirata Historical Museum and the 20th Anniversary of Kyushu National Museum The Story of Hirano: Exploring the Passions of Matsura Seizan and Hiroyuki

平戸モノ語り

松浦史料博物館開館70周年記念・九州国立博物館開館20周年記念特別展



松浦静山と 熙の情熱

令和8年(2026)
1/20(火) → 3/15(日)

開館時間 | 午前9時30分～午後5時
毎週金・土曜日は午後8時まで夜間開館
※入館は、閉館の30分前まで
※夜間開館の実施については、九博公式サイトでご確認ください

休館日 | 毎週月曜日
※2月23日(月・祝)は開館、2月24日(火)は休館
会場 | 3階 特別展示室

藩主父子の蒐集譚

未来へ繋がれた眼差し

写真撮影OK (一部作品を除く) <太宰府天満宮横>
九州国立博物館

関連イベント

記念講演会 「平戸モノ語り」の物語

本展を企画した研究員が、静山と熙による収集の背景について詳しく解説します。藩主として収集と考証、次代への継承に情熱を注いだその理由とは…
この講演会を聞けば、展示が更に楽しくなる！
●2026年2月11日(水・祝)
11時00分～12時00分(予定)
講師：松浦 晃佑(九州国立博物館 主任研究員)

<記念講演会、リレー講座ともに>

聴講無料、事前申し込み不要
会場：九州国立博物館 1階ミュージアムホール
定員：270名(予定)
※開場は30分前

平戸モノ語り 松浦静山と熙の情熱

2026年 1月20日(火) → 3月15日(日) 休館日：毎週月曜日
令和8年 ※2月23日(月・祝)は開館、2月24日(火)は休館

観覧料		
一般	2,000円 (1,800円)	大学生 1,200円 (1,000円)
		高校生以下 ・18歳未満 無料

※()内は前売料金/前売券 販売期間：2025年10月11日(土)～2026年1月19日(月)
販売場所：ARTNEチケットオンライン、ローソンチケット(Lコード:82094)、セブンチケット、天神定期券発売所(西鉄福岡駅・ソラリアステージビル1階)、九州国立博物館ミュージアムショップほか主要プレイガイドにて販売。
※上記料金で九州国立博物館4階「文化交流展(平常展)」もご覧いただけます。※障がい者等とその介護者1名は無料です。展示室入口にて障害者手帳等(詳細は九博公式サイト参照)をご提示ください。※大学生の方は展示室入口にて学生証等をご提示ください。※高校生以下および18才未満の方は展示室入口にて年齢のわかるもの(生徒手帳・健康保険証・運転免許証等)をご提示ください。※ほか詳細は九博公式サイトにてご確認ください。

並ばず事前にお買い求めいただける
オンラインチケットが便利です。

ARTNE TICKET ONLINE

ARTNEチケットオンライン <https://artne.jp/tickets>

チケット購入は >>>>>> はこちら

主催：九州国立博物館・福岡県、西日本新聞社、TVQ九州放送、西日本新聞イベントサービス
共催 | (公財)九州国立博物館振興財団 特別協力 | 公益財団法人松浦史料博物館、太宰府天満宮 後援 | 福岡市、太宰府市、太宰府市商工会、太宰府観光協会、佐賀新聞社、長崎新聞社、西日本鉄道

交通案内

- 最寄り駅：西鉄太宰府駅から徒歩約10分
 - 最寄の駅へのアクセス：
【西鉄電車】西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線で西鉄太宰府駅下車 ※特急/急行料金不要
【JR】JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用
【西鉄バス】博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(約40分)
 - 車：【九州自動車道】太宰府ICから約15分・筑紫野ICから約20分
【タクシー利用】JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分
- ※駐車場(有料)には限りがございますので、あらかじめご了承ください。



※身障者用駐車場は、どちらの入口からでも入れます。

リレー講座

九州国立博物館は、松浦史料博物館の多大なるご協力のもと、4年間にわたって所蔵資料の調査を進めてまいりました。このたびの特別展では、調査に関わった研究者たちがその資料の魅力について語ります。

歴史資料から知る、平戸モノ語り

●2026年2月22日(日) 13時30分～15時30分(予定)
特別講師：久家孝史氏(松浦史料博物館 主任学芸員)
演題「松浦史料博物館の設立の契機」
その他、当館歴史・考古担当研究員3名が歴史資料を通して松浦家の資料の魅力や、その収集背景についてお話しします。

絵画から見る、平戸モノ語り

●2026年3月1日(日) 13時30分～15時00分(予定)
調査に参加した研究者3名が、松浦家ゆかりの絵画や歴史資料について解説します。

工芸から楽しむ、平戸モノ語り

●2026年3月15日(日) 13時30分～15時00分(予定)
当館工芸担当研究員3名が、松浦家伝来の工芸品を通して、見どころをお伝えします。

九州国立博物館 3階 特別展示室
午前9時30分～午後5時 入館は閉館の30分前まで
毎週金・土曜日は午後8時まで夜間開館
※夜間開館の実施については、九博公式サイトでご確認ください。

百物語化物図 トートバッグ・グッズセット券

本展観覧券と、本展に展示される「百物語化物図」をモチーフにしたトートバッグがセットになった特別前売券です。
価格：3,600円(税込)
※100セット限定、なくなり次第終了
販売場所：ローソンチケット(Lコード:82094)
※販売期間：2025年10月11日(土)～2026年1月19日(月) ※予定枚数に達し次第、販売を終了いたします。※電子チケットは購入の際に各種手数料がかかる場合があります。※グッズは、会期中に会場特設ショップにてお引替えください。※商品イメージは公式サイトで販売前に公開します。

本展では、一部作品を展示替えいたします。
●前期(1/20～2/15)
●後期(2/17～3/15)
※開催情報の詳細は九博公式サイト等でご確認ください。

【音声コード】
Uni-Voiceコード対応の携帯電話やスマートフォンで読み込むと展覧会の概要を音声でご案内します。

<九博公式サイト>
www.kyuhaku.jp



<太宰府天満宮横>
九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 | ハローダイヤル 050-5542-8600 (午前9時～午後8時/年中無休)

「左上・右上・右下」河太郎図(部分)「右中央」百物語化物図(部分)「いずれも長崎」松浦史料博物館

舞台は江戸後期、長崎・平戸

正反対な親子の情熱を辿る物語。



まつら せいざん
松浦静山
(1760-1841)

memo

- ✓「生まれながらのお殿様」
…ではなかった
- ✓おばあちゃんっ子
- ✓妖怪・児童が好き、都会が好き、モノを集めるのも好き
- ✓茶の湯は苦手、肖像を描かれるのも嫌い
- ✓好奇心旺盛、ガツガツしている?
- ✓初対面の人にもお願い事ができる「鋼のメンタル」
- ✓記録魔

第二章 静山モノ語り — 交流・収集・考証 —

静山は歴史考証が盛んになった時代に生きたお殿様です。文化人とのネットワークを築き、多種多様なモノを収集しました。しかし、これは古物趣味に基づくものではありません。豊富な資料から正確な歴史を読み取り、後世に歴史を遺すという情熱に裏付けられたものだったのです。静山が収集した作品をもとに、静山の考証態度や知的好奇心について探ります。



まつら ひろむ
松浦熙
(1791-1867)

memo

- ✓父から出世を期待され、英才教育を受ける
- ✓真面目で優等生タイプ、だからこそ悩みも多い
- ✓運動不足解消のために蹴鞠を始める
- ✓地元が好き、能が好き、自分のことも大好き
- ✓母の貯金で甲冑を作る
- ✓父と同じく記録魔

第二章 熙モノ語り — 先祖への想い、子孫への想い —

熙は社会矛盾が広がった時代に生きたお殿様です。松浦家と平戸を守ることを使命とし、先祖や地域ゆかりのモノを収集し、後世に遺すことに情熱を注ぎました。また、熙は想いをモノに込めることで、自らの想いが末永く家と平戸を守ると考えていました。熙が収集・修復し、想いを込めた作品を通じて、どのように子孫と平戸を守ろうとしたかを見ます。

武勇の誉高き武将、
黒いのは理由あり!!



三勇像 (通期)
内藤業昌筆 佐藤一斎賛 / 画 江戸時代・天保10年(1839) 賛 江戸時代・天保11年(1840)
長崎・松浦史料博物館



松浦熙像 (狩衣寿像) (通期)
井手利憲筆 松浦熙賛
江戸時代・天保4年(1833)
長崎・松浦史料博物館



渡辺綱像 (前期)
和田公美筆 江戸時代・弘化3~4年(1846~47)
長崎・松浦史料博物館

静山の好古仲間、 ナニワの大収集家



重要文化財 木村兼葎堂像 (展示期間) 1/20 (火)~2/8 (日)
谷文晁筆 江戸時代・享和2年(1802) 大阪府教育委員会

宮本武蔵像(部分) (通期)
松浦清賛 江戸時代・19世紀 長崎・松浦史料博物館

平戸藩士が描く、 壮麗かつ鮮やかな孔雀図



孔雀図 (通期)
徐蟬晋 (久間貞八) 筆 江戸時代・19世紀 長崎・松浦史料博物館

第三章 特別公開 『家世修古図』と松浦家・平戸の宝

静山の時に作成が始まり、熙の頃には完成したと考えられる『家世修古図』は、松浦家の家宝と平戸に伝わる重宝を精緻な図で記録したものです。遺された松浦家の家宝とともに、貴重な資料である『家世修古図』をこのたび初めて全点公開します。後世に「宝」を遺したいと願った静山と熙の想いが、今ここに蘇ります。

質感が感じられるほどに
精緻な家宝カタログ

真正正銘、剣豪・武蔵!



松浦史料博物館のご紹介

松浦史料博物館は、平戸藩主・松浦家に伝来した資料を保存・公開する、長崎県内で最も歴史を有する博物館です。令和七年(二〇二五)十月に開館七十周年を迎えます。本展で紹介する静山と熙が収集した資料のほかに、中世以降の古文書や対外貿易関係・キリスト教に關係する資料、歴代当主・藩主ゆかりの資料など、歴史的・文化的に貴重な資料を所蔵しており、国内外問わず、多くの人々が訪れています。



展示場の様子



家世修古図 (通期)
江戸時代・18~19世紀 個人蔵



素懸紅糸威腹当 (通期)
室町時代・16世紀
長崎・松浦史料博物館

室町將軍が
松浦家当主に
授けたと伝わる